

新千歳空港の深夜・早朝時間帯を活用した実証運航について

【運航の内容】

- ・ 運航日
平成 25 年 8 月 10 日(土)、8 月 14 日(水)、8 月 17 日(土)
- ・ 運航時間・区間 (各日 1 便)
新千歳空港 22 : 15 発 → 韓国・務安国際空港
- ・ 運行形態
旅客チャーター便 (韓国人ツアー客の帰国便)
- ・ 運航会社
大韓航空
- ・ 運航機材
B737-900ER 座席数 159 名
- ・ 搭乗の状況
ほぼ満席

【検証事項】

- ・ **C I Q 体制、ターミナルビル等の営業時間の延長、交通アクセスなど、枠拡大時の旅客便の円滑な運航に向けた課題。**

I 関係者に対する事後調査結果

上記便の運航終了後、C I Q 機関、空港ビル、店舗から、当日の対応等と課題についてアンケート調査、事後の聴き取り調査 (C I Q 機関及び空港ビル会社) を実施。

○ C I Q 体制 (出国審査・出国検査)

- ・ ツアー会社を取り仕切る団体客の出国であったこともあり、大きなトラブルもなく、出国審査 (札幌入国管理局千歳苫小牧出張所)・出国審査 (函館税関千歳税関支署) とともに、スムーズに対応できた。
(出国に関しては検疫の対応はなし。)

○ ターミナルビルの営業体制

- ・ **国際線ターミナルビルの閉館時間を延長して対応** (22 : 30 → 23 : 00)
見送り客等を含めた利用者全員の退館のため閉館時間を 30 分延長した。利用者の滞留もなく、予定した延長時間内に閉館できた。
- ・ **国際線ターミナルビル・連絡通路内の 10 店が営業時間を延長**
制限エリア 2 ワゴンカフェ及びフードコート (21 : 00 → 22 : 00)
免税売店 (実証運航便まで延長)

- 制限エリア外8 コンビニエンスストア（18：00→21：00）
カフェ（実証運航便まで延長）
土産（16：30（水20：00）→21：00）
クラフト（17：00（水20：00）→21：00）
水産品（実証運航便まで延長）
玩具（18：00→21：00）
ドラッグストア（19：00→20：00）
ボディケア（19：00→21：00）

（店舗からの主な意見）

- ・ 実証運航に対応して店舗の営業時間を延長して、人件費、光熱費のコストがかかったが、売り上げの増加には繋がらなかった。
- ・ 便と便の間隔が空きすぎると、その間の集客がないことが問題。人員の運用が難しい。
- ・ 実証運航による営業時間延長はコスト的には厳しいものがあったが、お客様は楽しく買い物されていた。

（深夜早朝時間帯発着枠拡大後の対応）

- ・ 恒常的な営業時間延長を前向きに検討： 2店
- ・ 繁忙期のみ営業時間延長を前向きに検討： 3店
- ・ 現状では営業時間延長には否定的： 4店
- ・ 現状では不明： 1店

※営業時間延長には否定的な理由（従業員の交通手段、従業員確保、効率的な店舗運営が困難）

○ 交通アクセス

- ・ 実証運航便の旅客（韓国人ツアー客）は貸し切りバスでの移動であったため、公共交通機関の利用は無かった。
- ・ 空港に勤務をする職員は、自家用車で通勤している職員も多いが、札幌方面から公共交通機関を利用して通勤している職員も多い。深夜・早朝において業務を円滑に行うため、当該時間帯の安定的な通勤手段の確保へのニーズが高い。

Ⅱ 枠拡大時の旅客便の円滑な運航に向けた主な課題等

<ターミナルビル等の営業時間の延長>

- 店舗の営業時間の延長のためには旅客利用者による需要があることが前提となるが、そのためには、ある程度まとまった時間帯における旅客便発着回数（利用者）が必要である。

<交通アクセスの改善>

- 現行の公共交通機関（JR・バス）の空港ターミナルにおける運航ダイヤの充実（終発時間の後ろ倒しなど）が必要である。